

共通点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00600020
基幹・一般の別(選択記入)	一般統計調査
調査の名称	大都市交通センサス
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」(H28.4)における鉄道プロジェクトの定量分析における利用等)
特記事項	

点検・評価項目	点検・評価事項等	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況			
		整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
1 調査の目的	整合	結果の利活用実態 (特記事項)	その他 ( )				
2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域 その他 ( ) (特記事項)	調査対象産業				
3 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	整合	母集団情報 全数層・抽出層の設定 その他 ( ) (特記事項)	抽出方法・抽出基準 対象数の算定				
4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	整合	調査票 調査期日・期間 (特記事項)	調査事項 その他 ( )				
5 報告を求めるために用いる 方法※	整合	調査方法 民間委託の範囲 (特記事項)	調査系統・組織 その他 ( )				
6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期) 調査の周期 (特記事項)	調査票の提出期限 その他 ( )				
7 集計事項※	不整合あり	○ 未集計 復元推計 (特記事項)  平成27年調査結果について、一部未集計・未公表となっている集計項目があった。	○ 未公表 その他 ( )		調査計画の変更申請	対応中/対応予定	未集計事項のうち、精度の確保が難しいものは次回調査計画から調査事項に含めない方向で検討し、それ以外のものは次回調査計画においても調査事項とする予定であり、今後集計・公表することを検討している。
8 調査結果の公表の方法及び 期日※	整合	公表実施時期 e-statの掲載 その他 (特記事項)	公表媒体 閲覧表				
9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用 その他 ( ) (特記事項)	独自基準の説明				
10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合	保存期間 保存方法 (特記事項)	保存責任者 その他 ( )				
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	非該当	立入検査対象事項 (特記事項)	その他 ( )				
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討(予定)している事項		検討(予定)している事項の有無 (選択記入)	検討(予定)している事項の概要 (自由記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

II 必要な精度の確保・向上の観点	1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)							
		精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)					
	<table border="1"> <tr><td>達成精度(実績精度)</td></tr> <tr><td>回収率・回答率</td></tr> <tr><td>○ 回収標本数</td></tr> <tr><td>カバレッジ</td></tr> <tr><td>その他</td></tr> <tr><td>設定なし</td></tr> </table>	達成精度(実績精度)	回収率・回答率	○ 回収標本数	カバレッジ	その他	設定なし	<p>本調査の鉄道利用者調査については必要サンプル数(回収票数)「約39万票」、バス利用者調査については必要サンプル数(回収票数)「約0.7万票」を管理の目安に設定。</p>	平成27年	<p>平成27年調査 鉄道利用者調査：約32万票 バス利用者調査：約0.5万票 ※調査対象を主要なバスターミナルに乗り入れる系統から空港バスターミナルに乗り入れる系統に変更(中京圏を除く)</p>	<p>平成22年調査 鉄道利用者調査：約34万票 バス利用者調査：約3万票</p>	<p>平成17年調査 鉄道利用者調査：約30万票 バス利用者調査：約3万票</p>
達成精度(実績精度)												
回収率・回答率												
○ 回収標本数												
カバレッジ												
その他												
設定なし												